

m003002

[安房区]安房棒踊り

概要 適用



m003002001)棒踊りは武芸を源とする



m003002002  
如竹神社での奉納



m003002003  
トラックが一台伴走する



m003002004  
まんてん橋に移動



m003002005  
手踊り「屋久の権現様」



m003002006  
手踊り「からいもドンドン」



m003002007  
棒踊り

【概要】

鹿児島県内にきわめて広く分布する伝統芸能、屋久島においては安房・尾の間・小島・平内・湯泊の5集落において継承されており、それぞれに差異が見られる模様。

- ・安房集落においては三尺・六尺の棒を持った踊り子が踊る。
- ・郷土史{平成一五年}によれば新暦8月13日{盆入り}に本仏寺と14日{お盆}に初盆の家で踊るとされているが現在は14日に纏められている模様。

平成28年8月14日の記録

- ・午前9:00より本仏寺にて棒踊りを奉納
- ・如竹廟に移動、奉納ののち9:30には安房川橋{まんてん橋}へと移動、明星岳への奉納とする。
- ・若宮神社前広場にて若宮神社への奉納を踊り、これ以後は初盆の各家を巡ってゆくこととなる。
- ・棒踊りに入る前の手踊り(屋久の権現様)という歌・踊りをした後棒踊りに入るのが毎回の順序。
- ・炎天下での踊りとなるので初盆の各家を回る時は交代で複数名ずつ休憩をとりながらとなった。

【参考文献】

屋久町郷土誌第3巻・4巻

【写真】

m0030202001)棒踊りは武芸を源とする勇壮な踊り。



m003002008  
棒のあたる音が迫力だ



m003002009  
棒踊り 掛け声も勇壮



m003002010  
若宮神社へ移動



m003002011  
若宮神社へ奉納



m003002012  
多くの見物人家もある



m003002013  
棒踊り風景



m003002014  
棒踊り風景



m003002015  
すいか・飲み物等が振舞われる



m003002016  
棒踊り風景



m003002017  
炎天下歌いっぱなし



m003002018  
徐々にきつくなってくる



m003002019  
水分補給

m003002002)如竹神社での奉納。  
 m003002003)補給と移送の為軽トラックが一台伴走する。  
 m003002004)安房川橋{まんでん橋}に移動。  
 m003002005)手踊り{屋久の権現様}。  
 m003002006)手踊り「からいもドンドン」で締める  
 m003002007)棒踊り  
 m003002008)棒踊り 棒のあたる音が迫力だ。  
 m003002009)棒踊り 掛け声も勇壮。  
 m003002010)若宮神社へ移動  
 m003002011)若宮神社へ奉納  
 m003002012)多くの人が見に来る家もある。  
 m003002013)棒踊り風景  
 m003002014)棒踊り風景  
 m003002015)すいか・飲み物等が振舞われる  
 m003002016)棒踊り風景  
 m003002017)炎天下歌いっぱなし。  
 m003002018)徐々にきつくなってくる  
 m003002019)水分補給。  
 m003002020)狭い路地でも踊る。  
 m003002021)棒踊り風景  
 m003002022)棒踊り風景  
 m003002023)終盤はかなりきつい。  
 m003002024)初盆の家庭を回る



m003002020

狭い路地でも踊る



m003002021

棒踊り風景



m003002022

棒踊り風景



m003002023

終盤はかなりきつい



m003002023

初盆の家庭を回る